

輸送動向について（4月分）

平成27年5月

1. 輸送概況

今月は、津軽海峡線（青函トンネル内）で発生した旅客列車車両故障の影響により、高速貨30本が運休となった（前年は高速貨3本、専貨1本が運休）。

コンテナ貨物は、鉄道へのシフトが続いている積合せ貨物が大幅な増となったほか、農産品・青果物では北海道産の玉葱、新潟地区の民間流通米、東北地区の政府米が好調な出荷で増となった。また、食料工業品では清涼飲料水・砂糖の発送が好調であったほか、化学工業品、エコ関連物資で前年を上回った。一方、部品の海外および現地調達化により物流量が減少している自動車部品、白物家電の国内出荷金額が低調な家電・情報機器、原材料の高騰により製品価格が値上がりしている紙・パルプについては前年を下回った。結果、コンテナ貨物全体では前年比102.8%となった。

車扱貨物は、石油では販売価格の上昇から買い溜めによる需要増となった。車扱貨物全体では前年比102.7%となった。

コンテナ・車扱の合計では前年比102.8%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	1,895	1,843	102.8%
車 扱	669	651	102.7%
合 計	2,563	2,494	102.8%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	156	140	16	111.4%
	化学工業品	181	175	6	103.4%
	化学薬品	126	126	0	100.4%
	食料工業品	321	288	33	111.5%
	紙・パルプ	276	289	-13	95.4%
	他工業品	127	131	-4	97.0%
	積合せ貨物	235	207	28	113.4%
	自動車部品	56	63	-7	89.8%
	家電・情報機器	35	39	-4	90.8%
	エコ関連物資	33	31	2	106.5%
	その他	348	354	-6	98.2%
コンテナ計	1,895	1,843	52	102.8%	
車 扱	石油	450	401	49	112.3%
	セメント・石灰石	104	128	-24	80.8%
	車 両	65	65	0	100.2%
	その他	49	56	-7	87.5%
	車 扱 計	669	651	18	102.7%
合 計	2,563	2,494	4	102.8%	

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）